

広 報

第 83 号



日 大 山 形

令和7年10月3日発行

山形県勢最多

20回目の夏・甲子園へ



野球部 第107回全国高等学校野球選手権山形大会 優勝

「熱く、泥くさく、粘り強く」20回目の甲子園へ

第107回全国高等学校野球選手権大会 出場!!

戦いの記録

山形県大会

2 回 戦	10 - 3	惺 惺	山 館
3 回 戦	4 - 0	創 学	黒 南
準々決勝	2 - 1	羽 田	東
準決勝	12 - 5	酒 鶴	岡
決勝	5 - 4		

甲子園大会

1 回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
日大山形	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
県岐阜商	0	0	0	0	2	0	4	0	X	6

「心をひとつに。夢の先まで。」

「新しい夏」の景色が誕生した。朝夕二部制の実施等の新たなルールが導入され、これまで太陽に照らされてきた甲子園に、新しい光が差した。変化の一方で、今までと変わらない「心をひとつに」した球児の姿が、今年も人々の心を打った。

「年ぶりに10回目の県制覇」

七月二十六日。この日、二年ぶり二〇回目の夏の甲子園大会出場の切符を手にした。新チーム始動以降初の県制覇は、待望の瞬間であった。

山形大会では全ての試合で九イニングを戦い抜いた。コールドゲームでの勝利が一度もないという戦いぶり、個が突出しない今年のチームを象徴した。しかし、

特段負けず嫌いなこのチームは、壁にぶつかりながら逞しく成長し、大一番で力を発揮できる粘り強いチームになっていった。

「夏の大会には二つの壁がある。」今大会中、監督の荒木が再三説いた教訓である。一つ目の壁は「ベスト4に残ること」。教訓の通り準々決勝は、羽黒高校を相手に七回終了時点で一一の同点と、張り詰めた展開になった。しかし、先頭の佐藤壘(三年)、続く根津(三年)、佐藤颯太(三年)の三連打で勝ち越し、二一で勝利を収めた。この勝利によってチームは勢いづき、準決勝では、酒田南高校に序盤の劣勢を跳ね返す快勝。確たる自信を持って「決勝戦」という二つ目の壁に挑んだ。威勢の良い今年のチームは、勢いづくと言った。

初回、内野安打と四球により好機を作ると、佐藤壘、渡邊(三年)、岩下(三年)、林(三年)の四連打で三点を先制。林は五回にもタイムリーを放ち、この日三安打二打点の活躍で起用にこえた。守っては、今大会では全ての試合で先発した小林(三年)が、決勝戦も五回二失点と試合を作った。六回以降は本田(三年)が粘り、仲間の思いを甲子園に繋いだ。

決勝戦では、春に挫折を経験した者、今大会中の不振に喘いでいた者が奮起した。壁を乗り越えることで育まれた、伝統の「熱く、泥くさく、粘り強く」戦う精神が、今年のチームにも確かに息づいていた。

有終の美

県大会における全ての勝利は、控え部員たちの支えと、それに応えようとするメンバーの結束の結果であった。炎天下でバットティングピッチャーとして連投を重ねた者、学生コーチの立場を志願した者、願いを込めてメッセージを送る者、声を枯らして鼓舞する者、それぞれがチームの勝利に貢献しようと、ゲームセットの瞬間まで戦い抜いた。そんな彼らの置かれた場所

で咲く姿は、澁瀬として清々しく、まさに「有終の美」といえる姿であった。

「一回戦 県立岐阜商業高校戦」

伝統の「NIHON」の文字が金色で縁取られた新しいユニホームに袖を通し、第一〇七回全国高等学校野球選手権大会の開幕を迎えた。本校は大会六日目第一試合、岐阜県代表・県立岐阜商業高校と対戦することとなった。

試合は初回から動いた。先頭の浅井(三年)が相手の失策により出塁すると、続く遠藤(二年)が内野安打で好機を演出。その後、一死二・三塁として迎えた佐藤壘の内野ゴロの間に一点を先制した。しかし、二回以降は相手の好投手を前に得点できず、五回には、三本のヒットで逆転を許した。

また、一一で六回を迎えようとしたところで大雨に見舞われた。中断した試合はおよそ一時間後に再開されたが、その後に四球や失策が絡み四失点。試合は一六で最後の攻撃を迎えた。先頭の佐藤颯太がヒットで出塁、代打の清野(三年)が四球を勝ち取ると、代打の土田(二年)が二点タイムリーを放ち三点差に詰め寄った。結果は三六で

最後に

多くの方々にご尽力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。皆さんのご支援に後押しされ、二年ぶり二〇回目の甲子園に出場することができました。皆さんと共に校歌を歌うことは、また持ち越す願いとなりましたが、日大山形らしい姿で戦うことができました。今後もより一層「愛されるチーム」となって、日本一という目標に向けて精進してまいります。本当にありがとうございます。

日大山形野球部 一同



**三年 岩下瑛斗（仁賀保中）**

夏の県大会、甲子園と心温まる熱い応援をしてくださった方々、本当にありがとうございました。たくさんの方の支えや応援があったからこそ、甲子園に出場することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

小さい頃から夢見てきた「甲子園」という舞台でプレー出来て、本当に良かったです。負けた悔しさはありますが、憧れの場所仲間と流した汗と涙、咲かせた笑顔は一生忘れません。甲子園での経験はこれから人生において、大きな財産となりました。これからも感謝の気持ちを忘れず、さらに成長できるように頑張っていきます。

三年 小林永和（郡山中）

甲子園大会まで熱い応援をありがとうございました。小さい頃から憧れていた夢の場所で試合をすることが

でき、本当に幸せでした。勝利することはできませんでしたが、この敗戦を今後の野球人生に活かしていきます。

三年 阿部永成（上山北中）

小さい頃から目指し続けた甲子園は、自分のプレーを最大限に発揮できる場所でした。最高の仲間とプレーができて本当に幸せでした。悔しい結果でしたが、皆さんの応援が力となりました。本当にありがとうございました。

三年 佐藤 聖（古川中）

小さい頃から憧れ続けた甲子園は、改めて野球が楽しいと思える場所でした。打席に入った時に不安や緊張よりも先に楽しいという感情が出てきました。ただ、負けた悔しさは忘れられません。この悔しさと甲子園出場という貴重な経験をいかして大学野球でもさらなる高みを目指して頑張っていきます。

二年 遠藤聖也（天童四中）

憧れの舞台であった甲子園でプレーでき、とても貴重な経験をすることができました。しかし、初戦敗退という結果になり、甲子園で勝つことの難しさを実感しました。この経験を活かし、来年は甲子園で勝ち進むことができるように日々

努力していきます。

三年 佐藤颯太（舟形中）

野球を始めるきっかけでもあった甲子園でプレーができたことは一生の思い出です。この一〇年間の野球人生の中で高校野球の三年間はあつという間でしたが、成長することができました。そのような経験ができたのもたくさんの方の支えのおかげです。今後もその経験を活かし、たくさんの方に恩返しができるように頑張ります。

三年 根津隼斗（西谷中）

小さい頃からの夢だった甲子園の舞台に立てて、本当に幸せでした。大観衆の中で仲間と全力で戦い、一球一打に魂を込めた時間は一生の宝物です。そして来年、後輩たちが敗戦の悔しさを晴らし勝つてくれると信じています。

三年 小川大智（稲田学園）

夢の舞台であった甲子園は、観衆の声が県大会とは異なり独特の雰囲気でした。その中でプレーできたことは一生の財産です。甲子園で勝つことはできませんでしたが、この悔しさを大学野球に生かしていきます。

三年 林 悠輔（天童一中）

打席に立った瞬間、大歓声に圧倒されて足が震えま

した。それでも自分を信じてヒットを打つことができた経験は一生忘れられない宝物です。

三年 本田 聖（酒田四中）

私は一年生の時に先輩方に甲子園の舞台に立たせてもらい、今年は必ず自分の力で連れて行くという気持ちで日々の練習に励みました。甲子園での戦いは、チーム、個人ともに悔しい結果で終わってしまいましたが、大きな経験をさせていただき、心から感謝しています。私はこれからも野球を続けます。この悔しさと経験を活かし頑張ります。

二年 児玉寛大（那覇中央中）

小さい頃からの目標であった「甲子園」でプレーすることができ、とてもいい経験ができました。初戦敗退という悔しい結果に終わりましたが、来年、必ず借りを返しにあの舞台に戻ります。

二年 室井奏汰（厚崎中）

ずっと夢であった甲子園では、校歌を歌うことはできず、悔しい思いをしました。来年もまたあの大きな舞台に立てよう、チームを引っ張っていきます。

三年 清野然心（蔵王一中）

物心がついたときからずっと見ていた「甲子園」

という舞台でプレーをすることができ、とてもいい経験になりました。三年間を通して、目標を達成するには信じるのが大切だと感じました。次のステージでも信じることを忘れず、目標に向かって日々励んでいきます。

三年 佐藤惇平（真室川中）

幼い頃からの目標であった「甲子園」という夢舞台にこの仲間と立てたこと、本当にうれしく思います。たくさんの方々に声援をいただき、その度に多くの人に支えられていることを実感しました。たくさんのご声援ありがとうございました。

三年 渡邊知起（山形九中）

小さい頃から憧れた甲子園でプレーし、一生に一度の素晴らしい経験ができたこと、グラウンドに立てたことは一生の思い出です。県大会、甲子園とたくさんのご声援ありがとうございました。

三年 星川陸斗（明倫学園）

野球を始めた頃から目標にしていた甲子園の舞台に立つことができ、人生で一番の思い出になりました。あの歓声の甲子園に立つことができて幸せでした。この経験を今後の人生に活かしていきます。

三年 久保瑛揮（深川二中）

小さい頃から夢見た甲子園で試合をしたこと、日大山形野球部で三年間学んだこと、一番下から這い上がったこと。その全てに誇りを持ち、今後の人生を歩んでいきます。応援ありがとうございました。

二年 土田健琉（山形九中）

甲子園という舞台に立つことができて、とてもいい経験になりました。またあの舞台に戻ってプレーできるように、日々の練習を頑張ります。熱い応援をありがとうございました。

三年 大場佳人（古川北中）

ずっと目標であった甲子園の打席は、忘れられない思い出になりました。スタンドから聞こえる応援が力になり、全力を尽くすことができました。たくさんのご声援をありがとうございました。

三年 杉本 遥（東根三中）

県大会と甲子園大会の応援ありがとうございました。小さい頃から憧れた甲子園に出場できたことは一生の思い出になりました。この甲子園に立つことができたのは学校関係者の皆さんや地域の方々など応援してくださる方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

第六七回 桜華祭 『一切適切桜華祭 「桜華祭はね、行っとかないと」』

八月三〇日・三十一日の二日間にわたって、今年度の桜華祭が行われた。今回の桜華祭は新たな企画や取り組みを積極的に取り入れ、これまで以上の盛り上がりを見せた。

初日は体育館において、放送部の映像作品、演劇部の公演、ダンスドリル部のパフォーマンス、吹奏楽部の演奏が披露された。中でも放送部の映像作品では、授業中の「かけ方(指名の仕方)」や「ムカサリ絵馬」が取り上げられていた。生徒たちは身近な話題に共感する一方で、地域に根付いた風習について真剣に学ぶことができたようだ。文化部の生徒たちが行ってきた活動の集大成を感じることができ、たいへん充実した時間となった。

また、午後には特別文化講演会が行われた。講師としてお笑い芸人の「テツ and トモ」さんをお迎えし、会場は終始笑顔に包まれた。生徒や

先生方もステージに上りお馴染みの動きを披露するなど盛り上がりを見せた。終盤の質問タイムには生徒からお二人の学生時代に関する質問があり、ユーモアも交えつつ真剣に答えていただいた。

特にトモさんは本校卒業生であり、当時の貴重なお話を聞くことができた。二日目は体育館において開催された生徒会企画に加え、校舎・校地内で各クラス・文化部の企画や出店が催された。

生徒会企画では昨年度に引き続き「フリーステージ」のど自慢大会が開催されたほか、「大抽選会」「日大山形☆格付けチェック」が新企画として行われた。また、桜華祭パンフレットには「謎解き」の要素が盛り込まれ、校内に散りばめられたヒントを探し回る来場者の姿が印象的だった。文化部の展示・発表も例年通り行われた。各部がそれぞれの活動の中で

積み上げてきた成果はどれも見応えのあるものばかりで、一つひとつの作品が来場者を魅了した。

また、1年生は学年企画としてモザイクアートに挑戦し、体育祭で撮影した各チーム(赤・青・黄組)の集合写真をベースに製作を行った。無事に完成し展示された作品は壮大で見事なものであった。

三年生および部活動の出店では、冷たい飲み物やかき氷など夏にぴったりのラインナップのほか、焼き鳥や焼きそばが提供された。

本格的に校舎新築・改修工事等が進行する中で限られたスペースを活用して開催された桜華祭であった。しかしながら、近隣の中学校・高校へのポスター等の配布、テレビ番組での宣伝活動、SNSの活用など、精力的に来場を呼び掛け桜華祭の魅力を伝えた結果、当日は大いに賑わいを見せた。来年度も「桜華祭はね、行っとかないと」と感じていただけることを願いたい。



七月二〇日・二一日
於山形市スポーツセンター

作用
糸



●対抗リレー（男子）



総合優勝 青組
総合準優勝 赤組
総合三位 黄組
フェアプレイ最優秀賞 2年1組



回にわたり、中学生を対象とする部活動体験会を行った。本校の部活動はいかがだっただろうか。今後の予定として、一〇月一日から行われる学校説明会において、部活動見学の機会を設けるこ

いては、本校ホームページ等を確認いただきたい。今年度も多数のご参加を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。来年度から一緒に部活動ができることを生徒、教職員一同楽しみにしています。



部活動報告

全国大会

野球部

・第一〇七回全国高等学校野球選手権大会 出場

ボクシング部

・全国高等学校総合体育大会

【男子】

ライトウェルター級

清水 駿允（山形三中） 三位

ライトフライ級

中谷丈一郎（山形六中） 五位

ライト級

齋藤 優気（金井中） 二回戦出場

【女子】

ライトフライ級

石沢 里沙（山形七中） 出場

水泳部

・全国高等学校総合体育大会

【女子】

一〇〇Mバタフライ「B決勝」

卯月 美月（陵南中） 一位

二〇〇Mバタフライ

卯月 美月（陵南中） 三七位

・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

【女子】

一〇〇Mバタフライ

卯月 美月（陵南中） 四位

二〇〇Mバタフライ

卯月 美月（陵南中） 一五位

男子テニス部

・全国高等学校総合体育大会

団体

個人（ダブルス）

設楽 晴太・伊藤 啓太 出場

女子テニス部

・全国高等学校総合体育大会

団体

出場

個人（シングルス）

大内 葵（山形六中） 二回戦出場

大内 茜（山形六中） 出場

個人（ダブルス）

大内 葵・大内 茜 出場

写真部

・全国高等学校総合文化祭

宗片 美結（山形五中） 出品

佐直 里瑚（神町中） 出品

放送部

・NHK杯全国高校放送コンテスト

ラジオドキュメント部門 出場

テレビドキュメント部門 出場

・全国高等学校総合文化祭

ビデオメッセージ部門 出場

ダンスドリル部

・全国高等学校ダンスドリル選手権大会

SONG「POMPO Small」編成

KICK部門 出場

運動部

野球部

・春季東北地区高等学校野球山形県大会

ベスト8

・第一〇七回全国高等学校野球選手権山形大会

優勝

男子バスケットボール部

・第七回藤井杯・高野杯

ベスト8

・山形県高等学校総合体育大会

二回戦出場

・東北総合スポーツ大会

萩生田良永（上山北中） 出場

（山形県少年男子選抜として）

サッカー部

・山形県高等学校総合体育大会

ベスト8

剣道部

・山形県高等学校総合体育大会

男子団体

・国民スポーツ大会山形県予選会

男子団体

・山形県剣道大会

ベスト8

男子団体

・女子団体（合同チーム）

ベスト8

・日本大学スポーツ大会

男子団体

三位

バドミントン部

・山形県高等学校春季バドミントン選手権大会

男子シングルス

間宮 瑛（山形三中） 出場

男子ダブルス

奥村 礼仁・東海林 龍 三回戦出場

女子シングルス

辨野 咲天（高橋中） 二回戦出場

須藤 詩香（天童二中） 出場

女子ダブルス

細谷 夢愛・境 歩乃花 出場

・山形県高等学校総合体育大会

学校対抗戦

男子/女子

男子ダブルス

奥村 礼仁・東海林 龍 三回戦出場

女子ダブルス

齋藤 光陽・辨野 咲天 二回戦出場

細谷 夢愛・境 歩乃花 出場

・国民スポーツ大会山形県予選会

男子シングルス

村山 遥樹（天童二中） 出場

東海林 龍（山形三中） 出場

男子ダブルス

奥村 礼仁・東海林 龍 三回戦出場

間宮 瑛・村山 遥樹 出場

・JOC全日本ジュニア選手権県予選会

男子シングルス

奥村 礼仁（山形四中） 出場

男子ダブルス

奥村 礼仁・東海林 龍 二回戦出場

女子ダブルス

高橋 心温・佐藤 百萌 出場

・村上地区高等学校総合体育大会

男子一〇〇Mハードル

西田 敦（上山北中） 七位

男子走り幅跳び

渡邊 維央（大石田中） 七位

男子円盤投げ

二戸 毅航（最上中） 五位

女子砲丸投げ

富樫 美結（赤湯中） 六位

・東北高等学校陸上競技大会

女子砲丸投げ

富樫 美結（赤湯中） 六位

・国民スポーツ大会山形県予選会

少年B走り幅跳び

渡邊 維央（大石田中） 優勝

・村山地区高等学校総合体育大会

男子個人

60kg級

奥山 健太（葉山中） 三位

73kg級

花輪 東（山形五中） 優勝

・山形県高等学校総合体育大会

男子団体

男子個人

60kg級

奥山 健太（葉山中） 優勝

・国民スポーツ大会山形県予選会

男子個人

軽量級

青山 龍仁（山形七中） 優勝

・卓球部

・山形県高等学校総合体育大会

男子団体

男子ダブルス

古頭 哲・鍋倉 大地 出場

・国民スポーツ大会山形県予選会

古頭 哲（山形九中） 出場

ボクシング部

・山形県高等学校総合体育大会

【男子】

団体

ピン級

古沢 蓮音（中山中） 二位

ライトフライ級

中谷丈一郎（山形六中） 優勝

フライ級

村山 智秋（山形四中） 二位

青山龍之伸（山形三中） 三位

バンタム級

村山 愛芽（山形四中） 二位

ライト級

齋藤 優気（金井中） 優勝

小林 綾稀（山形三中） 二位

加藤 大暉（山形四中） 三位

ライトウェルター級

清水 駿允（山形三中） 優勝

ウェルター級

朝倉 大馳（金井中） 二位

【女子】

ライトフライ級

石沢 里沙（山形七中） 優勝

バンタム級

須賀 美汎（山形四中） 優勝

・東北高等学校ボクシング選手権大会

【男子】

団体

一部ライトフライ級

中谷丈一郎（山形六中） 優勝

一部ライト級

齋藤 優気（金井中） 優勝

一部ライトウェルター級

清水 駿允（山形三中） 優勝

二部ピン級

古沢 蓮音（中山中） 優勝

二部フライ級

村山 智秋（山形四中） 二位

二部ライト級

小林 綾稀（山形三中） 五位

二部ウェルター級

朝倉 大馳（金井中） 二位

【女子】

ライトフライ級

石沢 里沙（山形七中） 二位

バンタム級

須賀 美汎（山形四中） 三位

・東北総合スポーツ大会

【少年男子】

ピン級

古沢 蓮音（中山中） 三位

ライトフライ級

中谷丈一郎（山形六中） 優勝

ライト級

齋藤 優気（金井中） 優勝

ライトウェルター級

清水 駿允（山形三中） 二位

男子バレーボール部

・山形県高等学校総合体育大会

ベスト8

・東北私立高等学校男女バレーボール選手権大会

三位

ソフトテニス部

・山形県春季ソフトテニス選手権大会

【男子】

長澤 理生・西塚 拓来 二回戦出場

星 文登・遠藤 愛流 二回戦出場

大津 翔太・荒井 大樹 二回戦出場

瀬野 来琉・作田 結大 二回戦出場

【女子】

小松 莉子・井上 華 二回戦出場

村形 胡桃・長沼 茶夏 二回戦出場

渡辺 真結・渡邊 英恵 二回戦出場

川崎 友結・菅野 更紗 二回戦出場

・村山地区高等学校総合体育大会

【男子】

五十嵐悠登・荒井 大樹 二回戦出場

【女子】

川崎 友結・菅野 更紗 二回戦出場

・山形県高等学校総合体育大会

【男子】

長澤 理生・西塚 拓来 二回戦出場

瀬野 来琉・遠藤 愛流 二回戦出場

星 文登・作田 結大 二回戦出場

小関 悠叶・大津 翔太 二回戦出場

【女子】

団体

小関 悠叶・大津 翔太 二回戦出場

【女子】

団体

小松 莉子・井上 華

二回戦出場

村形 胡桃・長沼 茶夏

出場

渡辺 真紘・渡邊 英恵

出場

国民スポーツ大会山形県予選会

【男子】

瀬野 来琉・大津 翔太

二回戦出場

【女子】

村形 胡桃・渡邊 英恵

二回戦出場

水泳部

・山形県高等学校総合体育大会

【男子】

四〇〇M自由形

海野 翼(陵南中) 四位

一五〇〇M自由形

海野 翼(陵南中) 優勝

二〇〇M個人メドレー

鈴木 麻聖(大江中) 四位

四〇〇M個人メドレー

鈴木 麻聖(大江中) 三位

八〇〇Mフリーリレー

海野 翼・大益 文音

四位

鈴木 麻聖・伊藤 優心

【女子】

五〇〇M自由形

村山 絢美(天童一中) 三位

富永 そら(東根三中) 五位

一〇〇M自由形

村山 絢美(天童一中) 五位

富永 そら(東根三中) 五位

四〇〇M自由形

高橋 茉那(東根一中) 三位

八〇〇M自由形

高橋 茉那(東根一中) 二位

一〇〇Mバタフライ

卯月 美月(陵南中) 優勝

二〇〇Mバタフライ

卯月 美月(陵南中) 優勝

四〇〇Mフリーリレー

卯月・高橋・富永・村山

・日本大学付属大会

一〇〇Mバタフライ

卯月 美月(陵南中) 三位

・東北高等学校選手権水泳競技大会

五〇〇M自由形

村山 絢美(天童一中) 六位

一〇〇Mバタフライ

卯月 美月(陵南中) 優勝

二〇〇Mバタフライ

卯月 美月(陵南中) 優勝

男子テニス部

・山形県高等学校総合体育大会

団体

伊藤 啓太(山形二中) ベスト4

設置 晴太(山辺中) ベスト4

和田 恵輔(上山南中) ベスト8

田村 珠透(河北中) ベスト8

重藤 実晴(山形六中) ベスト8

個人ダブルス

設置 晴太・伊藤 啓太 優勝

重藤 実晴・和田 恵輔 二位

多田 修造・加藤 悠樹 ベスト4

田村 珠透・梅津 蓮 ベスト8

浅野 広樹・渡邊 拓斗 ベスト8

東北高等学校テニス選手権大会

団体

伊藤 啓太(山形二中) ベスト16

個人ダブルス

設置 晴太・伊藤 啓太 ベスト4

重藤 実晴・和田 恵輔 ベスト8

多田 修造・加藤 悠樹 ベスト16

・国民スポーツ大会山形県予選会

少年男子シングルス

重藤 実晴(山形六中) ベスト4

東北ジュニアテニス選手権大会

U18シングルス

設置 晴太(山辺中) ベスト16

U18ダブルス

設置 晴太・伊藤 啓太 ベスト4

和田 恵輔・田村 珠透 ベスト16

U16ダブルス

重藤 実晴・他 校 生 ベスト4

男子ハンドボール部

・山形県春季ハンドボール選手権大会

二位

・山形県高等学校総合体育大会

二回戦出場

女子テニス部

・山形県高等学校総合体育大会

団体

個人シングルス

大内 葵(山形六中) 優勝

大内 茜(山形六中) 二位

齋藤ひなた(山形三中) 五位

石川 滯(志村五中) 七位

個人ダブルス

大内 葵・大内 茜 優勝

小笠原愛菜・齋藤ひなた 二位

石川 滯・本田 夏凜 三位

木村 奏音・鈴木 南穂 出場

・東北高等学校テニス選手権大会

団体

個人シングルス

大内 葵(山形六中) ベスト8

大内 茜(山形六中) ベスト16

齋藤ひなた(山形三中) 出場

石川 滯(志村五中) 出場

個人ダブルス

大内 葵・大内 茜 ベスト8

小笠原愛菜・齋藤ひなた 出場

石川 滯・本田 夏凜 出場

・国民スポーツ大会山形県予選会

少年女子シングルス

大内 葵(山形六中) 優勝

大内 茜(山形六中) 二位

齋藤ひなた(山形三中) 五位

・東北ジュニアテニス選手権大会

U18シングルス

大内 葵(山形六中) ベスト8

大内 茜(山形六中) 出場

小笠原愛菜(山形六中) 出場

齋藤ひなた(山形三中) 出場

石川 滯(志村五中) 出場

U18ダブルス

大内 葵・大内 茜 ベスト8

小笠原愛菜・齋藤ひなた ベスト8

石川 滯・本田 夏凜 出場

女子ハンドボール部

・山形県高等学校総合体育大会

出場

文化 部

吹奏楽部

・第六七回定期演奏会

開催

・さくらんぼメモリアルフェスタ

出演

・山形県吹奏楽コンクール

金賞

・東北吹奏楽コンクール

金賞

写真部

・山形県写真専門部フォトコンテ

スト

宗形 柚希(山形四中)

審査委員長特別賞

三瓶 蓮弥(山形四中) 奨励賞

齋藤 琳(山形四中) 奨励賞

宗片 美結(山形五中) 奨励賞

生物部

・身近な川や水辺の健康診断

参加

演劇部

・第六五回定期公演

開催

書道部

・山形県民ふれあい書道展

石川 心菜(楯岡中) 特別賞

後藤 希歩(東根三中) 特別賞

放送部

・山形県高校放送コンテスト

ラジオドキュメント部門 優勝

テレビドキュメント部門 入賞

ダンスドリル部

・全国高等学校ダンスドリル選手

権大会東北大会

SING/DOM部門Small編成

優勝

KICK部門

二位

MSSDANCE DRILL TEAM部門

佐藤 珠有(神町中) 三位

ボクシング部

全県高等学校総合体育大会 入賞

「健闘を称える」

ライトウェルター級

三位 清水 駿允

ライトフライ級

五位 中谷丈一郎

写真部

第四九回全国高等学校文化祭

出品作品

「Lift Up」

佐直 里瑚

「竜と猫の丈くらべ」

宗片 美結

本校オリジナル缶バッジを

制作・販売しました

昨年度に続き、生徒有志が本校オリジナルデザイン

の缶バッジを制作した。桜華祭にて販売を行

い、収益金を日本赤十字社山形県支部へ送金した。

善意を寄せていただいた皆様へ御礼申し上げます。

災害に備えて

東北電化工業株式会社様(山形市)より、災害発生時・緊急時太陽光発電電源装置を備えたコンテナをご提供いただき、桜華祭にて展示しました。

「Lift Up」

佐直 里瑚

「竜と猫の丈くらべ」

宗片 美結

写真部

第四九回全国高等学校文化祭

出品作品

「Lift Up」

佐直 里瑚

「竜と猫の丈くらべ」

宗片 美結

写真部

第四九回全国高等学校文化祭

出品作品

「Lift Up」

佐直 里瑚

「竜と猫の丈くらべ」

宗片 美結

写真部

第四九回全国高等学校文化祭

出品作品

「Lift Up」

佐直 里瑚

「竜と猫の丈くらべ」

宗片 美結

写真部

第四九回全国高等学校文化祭

出品作品

「Lift Up」

佐直 里瑚

「竜と猫の丈くらべ」

宗片 美結

写真部

第四九回全国高等学校文化祭

出品作品

「Lift Up」

佐直 里瑚

海外語学研修・海外留学制度

今年度よりスタート

本校独自の同研修・留学制度は、語学力の向上とグローバル社会で活躍するための自覚を高めることが目的だ（概要は左記の通り）。初年度に参加した生徒のうち、約六週間の日程で研修に参加した五名に感想を聞いた。

なお、九月中旬時点で、約一週間の海外語学研修に生徒一名が、約一年間の長期海外留学に生徒一名が参加中である。



研修を終え、卒業式にて

Q. 参加しようと思っただけは何かですか？

「中学生の頃から海外留学を検討していたため」(有海)

「自分の将来のためと、英語能力を高めるため」(齋藤)

Q. 現地で勉強や生活はどうでしたか？

「最初の二週間は全く聞き取れず、答えられない悔しさについていけない辛さで落ち込むこともあったが、日を重ねるごとに会話も楽しめるようになった」(山之内)

Q. 一番印象に残っていることは何ですか？

「現地の語学学校で、韓国や台湾の人たちと親しい友達になったこと」(澤渡)

Q. 今回の経験を、これからどのように活かしていきたいですか？

「違う国の文化や考え方を理解する大切さを実感できた。これからは視野を広げて勉強していきたい」(高橋)

①中期海外語学研修

①約六週間（七月中旬～八月下旬）

②約一週間（七月中旬～九月下旬）

研修先 フィリピン・セブ島

②長期海外留学

約一年（八月出発～翌年六月帰国）

研修先 カナダ・ブリティッシュコロンビア州

研修先 フィリピン・セブ島

進学説明会

六月一七日および二日に、国公立大学進学説明会が開催された。それぞれベネッセコーポレーションから講師の先生を招き、国公立大学進学を目指している生徒および



保護者の方々を対象として説明を受けた。また六月二五日にスポーツ・進学コースの三年生を対象とした日本大学合同学部説明会が行われた。法学部、文学部、経済学部、商学部、国際関係学部、危機管理学部、理工学部、生産工学部、生物資源科学部、付属看護専門学校、各学部の特徴や魅力、学生生活についてお話をいただいた。

それぞれの進学説明会を通して、受験に必要な

日本大学スマイルガールズプロジェクト

八月二二日、二年生進学コース在籍の大学進学希望女子生徒を対象に、日本大学本部職員と本校OGをお招きして、日本



大学スマイルガールズプロジェクトが開催された。日本大学の法学部・文学部・経済学部・商学部・付属専門学校の学ぶ六名の本校卒業生から、日本大学の魅力や学生生活について話を聞いた。特に高校時代の過ごし方について話が及ぶと、今自分が何をしなければならぬのか考えながら、熱心に耳を傾けている様子だった。その後、希望する学部ごとグループに

情報を手に入れ、今後どのような学校生活を送るべきなのかを考え、進路決定にも活かすことでできたようである。三年生は、これから本格的に始まる受験において、最後まで諦めずに戦い志望校合格をつかみ取ってほしい。



分かれ、学生と交流する時間を設けた。参加した生徒は直接卒業生から話を聞くことによって刺激を受け、学習意欲と日本大学へ進学したいという思いを高めることができた。

令和7年度 特待生 奨学生 紹介

日本大学付属高等学校 特待生

白戸 綸音(山大附中)
奥山 杏音(陵南中)
菊地 祥(山形六中)

日本大学山形高等学校 奨学生

阿部 彦(山形六中)
白崎 悠人(山形一中)
高橋 寛人(河北中)
伊藤 遙輝(山形七中)
鈴木 那奈(山大附中)
五十嵐 条志(山形十中)
佐直 里瑚(神町中)
高橋 咲花(白鷹中)
武田 陽稀(山形三中)
三上 心音(金井中)
津藤 哲仁(舟形中)

日本大学山形高等学校 コカ・コーラ育英奨学生

梅津陽南望(山形五中)
後藤 結奈(天童四中)
佐竹あかり(陵南中)
新田 爽陽(山大附中)
小川 結桃(山形三中)
片桐 希(神町中)

第14回ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ

付属高校生のサマー・プログラム

ケンブリッジ大学は日本大学の学術交流提携校の一つで、付属校生向けの研修が毎年夏と春の二回行われる。この夏、本校からも二名が選拔され、研修に参加した。

ケンブリッジで

広がった私の世界

一年 齋藤 佑磨
(天童三中)

この夏休み、私はケンブリッジ大学ペンブルックカレッジで一八日間の語学研修に参加した。歴史ある大学で学ぶのは夢のようで、町の落ち着いた雰囲気はまるで歴史の中を歩くようだった。授業はすべて英語で行われ、生きた英語に触れながら力を試し高めることができた。最初は不安もあったが、少しずつ自信がついていき、積極的に話せるようになった。放課後は街歩きや博物館を楽しみ、休日には、ロンドンで名所を訪れ、文化に触れることができた。全国から集まった仲間と交流し、多くの友人もできた。今回の語学研修は一八日間というあっという間の時間だったが、英語力がつき、異文化理解も深まり、自信をもつてコミュニケーションできるようなったような気がする。貴重な経験をくれた、学校、親に感謝し、今後の学びや人生に活かしていきたい。

本気でやる意義

一年 賣間絢珠香
(山大附中)

ケンブリッジ大学での海外語学研修の中でも特に印象に残っているのが、研修の終盤に行われた企画「タレントショー」だ。この企画は、私たち研修生が感謝の気持ちを込めて、出し物を披露する場だった。私は、研修中に出会った友達二人と、日本で人気のある曲を歌うことに挑戦した。最初は不安でいっぱいだったが、三人で声が枯れるほどの時間だったが、英語力がつき、異文化理解も深まり、自信をもつてコミュニケーションできるようなったような気がする。貴重な経験をくれた、学校、親に感謝し、今後の学びや人生に活かしていきたい。

この夏休み、私はケンブリッジ大学ペンブルックカレッジで一八日間の語学研修に参加した。歴史ある大学で学ぶのは夢のようで、町の落ち着いた雰囲気はまるで歴史の中を歩くようだった。授業はすべて英語で行われ、生きた英語に触れながら力を試し高めることができた。最初は不安もあったが、少しずつ自信がついていき、積極的に話せるようになった。放課後は街歩きや博物館を楽しみ、休日には、ロンドンで名所を訪れ、文化に触れることができた。全国から集まった仲間と交流し、多くの友人もできた。今回の語学研修は一八日間というあっという間の時間だったが、英語力がつき、異文化理解も深まり、自信をもつてコミュニケーションできるようなったような気がする。貴重な経験をくれた、学校、親に感謝し、今後の学びや人生に活かしていきたい。



齋藤さん(左)と賣間さん(右)



教室でみんなと

日本大学海外研修

海外研修報告

野口 敏 広

令和七年度海外派遣研究員として、アフリカ南部地域における自然と生活文化に関する調査のため、ナミビア・南アフリカ・マダガスカル三ヶ国を訪問した。

「アフリカ」という言葉を聞いて、どのようなことを想像するだろうか？多くの人は、「暑い」「混沌」といったイメージを持つのではないだろうか。本校で使っている地理探究の教科書で、アフリカ地誌を扱っているのは、三〇四ページ中、八ページしかない。このようにアフリカはあまり馴染みがなく、また最新の情報も手に入りにくいのが現状である。今回の研修では三ヶ国のみを訪問であるが、アフリカの現状を肌で感じることができた。ここでは調査の一部を報告したい。

▼南アフリカ

今回はケープタウンのみの訪問であった。港湾地域はウォーターフロント開発が行われ、東京のお台場や横浜のみならず、このような景観が広がっている。しかし、郊外にはタウンシップと呼ばれる黒人の居住区が見られ、アパルトヘイト政策の影響が今も残っていることを実感した。

今回の研修は、大変貴重な経験となった。研修で学んできたことを、授業を通して生徒に還元していきたい。



マダガスカル・モロンダバ
バオバブの並木道にて

▼ナミビア

一九九〇年に独立をした比較的新しい国である。首都ウイントフックは私

学校説明会のご案内

- 第1回 令和7年
10月11日(土)
- 第2回 令和7年
10月25日(土)
- 第3回 令和7年
11月9日(日)
- 第4回 令和7年
11月22日(土)
- 第5回 令和7年
12月6日(土)



受付 8:50~9:20
オープニングセレモニー 9:20~9:30
説明会 9:30~10:50

以下は希望制になります

- ・特進コース説明会 11:00~11:20
- ・部活動見学 11:00~12:00
- ・個別相談 11:00~

※全体会・特進コース説明会・部活動見学は、事前の申し込みが必要です(定員制)。
※本校ホームページの「Web出願・募集要項」内でアカウントを作成し、お申し込みください。【受付締切:各回の3日前の正午】上の二次元バーコードからお申し込みができます。
※部活動見学を実施する部については、本校ホームページにてお知らせいたします。
なお、第1回・第5回は部活動見学を実施いたしません。
※当日は防寒対策をして、上履きを持参の上ご来校ください。
※状況により予定を変更する場合があります。参加前に本校ホームページでご確認ください。

第27回 令和7年

日本大学山形高等学校

桜華同窓会総会・懇親会 開催

テーマ “轍”

7月5日(土) 於:パレスグランデール(山形市)



八月三日、福島県郡山市にある日本大学工学部のオープンキャンパスが開催された。それに合わせて、本校では一年生進学コースを主な対象とするバスツアーを実施し、約一四〇名の生徒が参加した。

オープニングセレモニーでは、学部長である根本先生より歓迎の挨拶をいただいた。キャンパス各所には、各学科の研究内容や学生生活を紹介するブースが設けられ、

日本大学工学部オープンキャンパス バスツアーを実施しました



先生方や学生の皆さんから直接説明を聞くことができた。体験型のブースも多く、楽しみながらキャンパスの雰囲気や大学での学びについて知ることができた。

参加者の中には、オープンキャンパスへの参加が初めてという生徒も多くいたようである。今回の機会を、文理選択や進路目標の決定に向けた良いきっかけにしてもらえればと考えている。

日本大学山形高等学校広報部
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五
TEL 023-641-6631(代)
FAX 023-641-6634
URL <https://www.ymg.hs.nihon-u.ac.jp>
印刷 (株)大風印刷
写真提供 フォトシヤマ



野球部の第一〇七回全国高等学校野球選手権大会出場に際し、多くの方々からご支援を賜りました。謹んで御礼申し上げます。

出場に際して寄付をいただきました皆様の名簿を、本校ホームページに掲載しております(令和七年一〇月現在)。以下の二次元バーコードからもご覧いただけます。



御礼
野球部 甲子園大会出場
温かいご支援に
感謝申し上げます

編集後記

学園祭。学校中みなで祭を作り上げていく。今年は工事中という制限もあったが、工夫された新企画も多く、みんなが楽しそうに作り上げた感じが伝わってきた。生徒会総務部ががんばって企画準備をする。それが連日「今年の桜華祭って、なんか面白い」とか「楽しすぎる」とか、みんなが楽しんでいる。この上半期はそんな連日、甲子園。野球部みんなが必死に勝ち取った。野球部だけのことでない。甲子園のスタンドで応援した部員が、全国の舞台で活躍したり、東北プロ野球をトップで勝ち抜いたり。部活動では、ライバルが、または友人(達)も負けないから私(達)も負けない、というふうな、連日の連続だ。横断的な先輩方ばかりでなく、目指してがんばっている人、結果を生む。がんばりの連鎖が、混ざり合う場所。学校とはそんな場所だ、と思う。